

## 北日本における過去6,700年間の温度変化と人類活動

Temperature change in northern Japan during the last 6,700 years and the related human activity

\*川幡 穂高<sup>1</sup>、八田 良樹<sup>1</sup>、羽生 淳子<sup>2</sup>、吉田 明弘<sup>3</sup>

\*Hodaka Kawahata<sup>1</sup>, Yoshiki Hatta<sup>1</sup>, Habu Junko<sup>2</sup>, Akihiro Yoshida<sup>3</sup>

1.東京大学 大気海洋研究所、2.カリフォルニア大学、3.鹿児島大学

1.Atmosphere Ocean Research Institute, the University of Tokyo, 2.University of California,

3.Kagoshima University

気温は最も重要な環境因子である。東季節風が吹く冬の時期を除くと、海水の水温と大気平均気温が高い相関を示すことを利用し、アルケノン水温の精度が高いことを利用し、陸奥湾と広島湾で水温より気温を復元した。その結果、両方で6,000~5,200年前は寒冷、5,200 ~4,000千年前は温暖、4,000~2,500千年前は寒冷、という結果が得られた。この結果は、日本列島北部のみでなく、基本的に本州地域が全体として、振幅は2.0°C程度の寒暖を同時期に経験していたことを意味しており、三内丸山遺跡での盛衰と日本全国の人口変動とが整合的なものを裏付ける結果となった。この結果を発展させ、今回、北海道噴火湾（内浦湾）の堆積物コア（全長約730cm、最深部の年代6730±40年前）の分析を行なった。その結果、水温の最高は23.2 °C、最低は14.5 °Cで、平均値は14.5 °Cであった。温度の高い時期は4529 BC, 2546 BC, 759 AD, 1782 AD, 逆に低い時期は4057 BC, 3585BC, 3018BC, 1885BC, 1508 BC, 1035 BC, 469 BC, 122AD, 381AD, 1164 ADであった、特に、降温が激しかったのは、4500-4000 BC, 2550-2000 BC, 760-1080ADであった。

キーワード：温度、縄文人、気候

Keywords: temperature, Jomon people, Climate